

水辺の活用策 意見続々

中区でイベント「川沿いで映画鑑賞を」



水辺の活用策について考える参加者ら＝浜松市中区で

水辺の活用策を話し

合うイベント「ミスベリングハママツ」（中日新聞東海本社後援）が二十日、浜松市中区のアクトシティ浜松コングレスセンターであった。十月から検討している活用策の改善案などが発表され、参加者が理解を深めた。

浜松河川国道事務所が主催し、市民ら五十人が参加した。天竜川沿いでの映画鑑賞会や、浜名湖の舟運プロジェクトなど、秋から

検討している水辺の活用策の改善案を発表。島田商業高校の生徒が、水辺の取り組みをホームページで見られるマップを披露した。

最後に参加者が「農業を観光に生かしたい」「しっかりと稼げる仕組みを作って後に残したい」「地域、世代を超えてつながりたい」と宣言。次回からは「ミスベリング遠江」と名称を変えて取り組むことになった。

次回は二〇一七年二月十五日午前十時半から、アクトシティ浜松コングレスセンターである。入場無料。

（渡辺聖子）